平成26年度決算

加賀市年次報告書

『成長戦略』に関する事業はこちらから

加賀市のキャラクター
『かも丸くん』

『将来への備え』に関する事業はこちらから

加賀市

平成 27 年 11 月

『将来への備え』

子どもから高齢者まで安心して暮らせる
『ライフロングサポートのまち』

『行財政改革』

子どもを産み育てたいと思われるまちづくりを進めます

●保育園保育料の値下げ　（平成26年度決算額（歳入減相当額）：2億172万円）

子育て世帯の経済的な負担を軽減するため、平成26年7月から保育園保育料を県内で最も安い水準に引き下げました。

医療・福祉・介護の連携体制を構築します

●地域福祉コーディネーター設置事業　（平成26年度決算額：850万円）

高齢者が住み慣れた地域・自宅で安心して暮らせる『加賀市版地域包括ケアビジョン』を策定し、構築の一環として、地域福祉コーディネーターを市内全域に設置するため、モデル事業を実施し、ガイドラインを作成しました。

市民に安全と安心を届けます

●防災情報伝達システム整備費　（平成26年度決算額：96万円）

各種災害から市民の生命や財産を守るため、公共施設や避難場所等に設置する「屋外拡声設備」や各家庭に配置する「戸別受信機」等を通して、防災情報等を一斉に伝達する防災行政無線の整備に向け、基本設計を実施しました。

●有料ごみ袋の負担軽減
（平成26年度決算額（歳入減相当額）：364万円）

ごみ袋有料化から5年が経過し、市民のみなさんのご協力によるごみの減量化と、加賀市環境保全審議会からの答申を踏まえ、平成27年1月から有料ごみ袋の値下げを行いました。

▲加賀市指定もえるごみ袋

●地域交通対策事業　（平成26年度決算額：3,771万円）

自家用車を使えない方も、安心して通院や買い物などでの移動ができるように、加賀温泉駅と大聖寺を結ぶ路線バス『温泉大聖寺線』の運行開始と、『吉崎線』と『温泉片山津線』の路線の延伸を支援するとともに、地区住民の団体が行う乗合タクシーの運行助成を行いました。

▲路線バス「温泉大聖寺線」出発式の様子

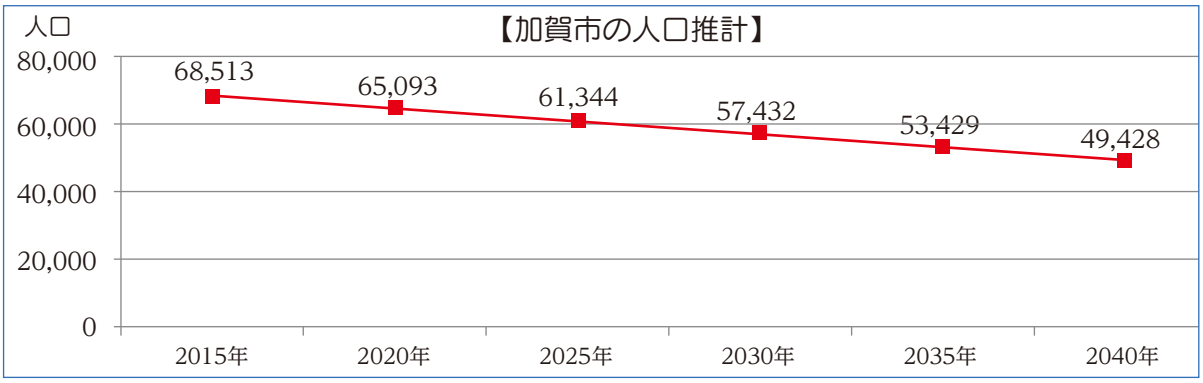
公共施設の適正化に向けた取り組みを進めます

●公共施設マネジメント調査事業　（平成26年度決算額：480万円）

既存の全公共施設を対象に今後40年間の更新費用の算出を行い、また、人口減少を見据えた将来の財政シミュレーションを行いました。その結果を基に、将来における更新費用の削減を目標とする『公共施設マネジメント基本方針』を策定しました。

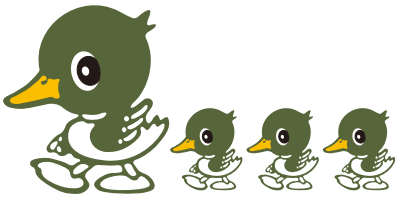
人口減少対策に全力で取り組んでいます

日本の人口が、今後加速度的に大きく減少することが見込まれる中、本市においても例外ではなく、人口の減少が予想されています。国立社会保障・人口問題研究所が発表した本市の人口推計では、25年後の2040年には5万人を割り込みます。



（国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」（平成25年3月　公表））

人口減少対策に向けた取り組み



＜婚活支援事業＞

独身男女の出会いの場等を創出する団体に助成金を交付する『婚活イベント助成制度』を設立します。

＜移住住宅取得助成事業＞

市外からの移住者を対象に、新築住宅又は中古物件（市空き家バンクに登録された物件）の購入に伴う費用の一部を助成します。

＜出産準備手当の給付＞

子育て世代への経済支援と妊娠期から子育て期にわたって切れ目のない支援を行い、子育て世代への安心感の醸成を図るため、『出産準備手当』を給付します。

＜総合戦略策定事業＞

人口減少に歯止めをかけるとともに、地域の活性化という好循環を生み出すため、「人口減少対策アクションプラン」等の既存計画をベースに、国から提示されたビッグデータや市民の意識調査等の分析を踏まえて、『加賀市人口ビジョン』と『加賀市まち・ひと・しごと総合戦略』を平成27年10月に策定しました。

「移住しやすい街」として取り上げられました

平成27年9月に発行された週刊誌の特集において、本市は「移住しやすさ★★★（三ツ星）の23自治体」にランキングされ、仕事や学校、高齢者施設や病院、家賃などのデータから、「移住しやすい街」に位置づけられました。

これらの強みを活かし、更なる移住や定住がしやすい環境の整備を進めます。

『市民の知恵を活かす政策先進都市』

『成長戦略』

『アジアから選ばれる温泉共創地』

自治体外交を展開します

●アジア諸国の自治体との友好交流事業

（平成26年度決算額：651万円）

近年増加傾向にある東アジアからの観光誘客を促進するため、台湾の台南市（人口188万人）と「友好都市協定」、高雄市（278万人）と「観光交流協定」、高雄市鼓山区（人口13万5千人）と「友好交流協定」を締結しました。また、シンガポールとも教育交流の実現に向け交流を推進しています。

▲台南市と「友好都市協定」を締結しました

●インバウンド推進事業

市内3温泉を訪れる外国人の宿泊客も平成24年から平成26年までの3年間で、約3倍（4万5千人）に増加しており、外国人観光客向けの対策が急務となっていることから、海外誘客（インバウンド）事業として、台湾台南市での国際旅行博に出展し、加賀温泉郷のPRを行いました。

▲台湾台南市で行われた国際旅行博で加賀温泉郷をPRしました

●公共施設における公衆無線LAN（Wi-Fi）整備事業　（平成26年度決算額：180万円）

市内10か所の観光スポットに公衆無線LAN（Wi-Fi）を設置し、外国人観光客の受入れ環境の整備を進めました。

PRを強化します

●首都圏プロモーション事業　（平成26年度決算額：3,000万円）

北陸新幹線金沢開業を見据えた『観光戦略プラン』を策定し、ご当地グルメの開発、新たなポスターの作成、インターネットでの動画配信、誘客キャンペーンの実施、東京主要駅でのデジタルポスターの掲出、旅行雑誌への特集記事掲載等により、首都圏を中心に観光プロモーションを展開しています。

観光戦略プラン『加賀ていねい』

温泉・歴史・伝統・文化・自然・食など、加賀市の優れた魅力を一言で表現した「加賀ていねい」をコンセプトに、1泊2日で来訪されるお客様に、3つの温泉地と4回の食事（昼・夕・朝・昼）を楽しんでいただく『1泊2日3湯4食』を提唱し、地域内の回遊性を向上し誘客促進を図ります。

＜目標値＞

・観光入込客数

平成26年　178万人 ⇒ 平成29年　**214万人**　**20%UP**

・観光消費額

平成26年　383億円 ⇒ 平成29年　**460億円**　**20%UP**

産学官が連携し「スマートウェルネスKAGA」を目指します

●産学官連携体制構築事業　**（平成26年度決算額：169万円）**

本市産業の発展を図る為、学識経験者、経営者、行政、金融機関が一体となった「加賀市産学官連携円卓会議」を設置し、中小企業振興基本条例を制定するとともに、本市産業の「成長」と「創造」を、目指す『加賀市産業振興行動計画スマートウェルネスKAGAへの行動計画』の骨子を策定しました。

●加賀ロボレーブ国際大会推進事業

『加賀市産業振興行動計画スマートウェルネスKAGAへの行動計画』における最重点施策の1つである「ロボット研究の推進」として、将来の産業人材の育成を図るため、国際的なロボット教育プログラムである『ロボレーブ』の大会を昨年11月に開催し、市内小学生が約90名参加しました。

▲加賀市で行われた大会の様子

加賀市産業振興行動計画　～スマートウェルネスKAGAへの行動計画～

民間の力を引き出し、市民の総力を結集し、新たなチャレンジを行うことにより、地域資源を活かし、健康・医療・福祉・介護分野での新たな産業群の創造や、関連する成長産業であるロボット研究の推進などを重点的に行い、魅力ある企業や地域の創造を図るものです。そして本市の未来都市像として、魅力ある企業が集積し人々がいきいきとするまち「スマートウェルネスKAGA」を目指すものです。

企業誘致に取り組みます

●企業誘致推進事業

（平成26年度決算額：1,405万円）

平成26年4月から企業誘致室を設置し、積極的に誘致活動を行っています。平成26年度は、小松ウオール工業㈱が新保町地内で新工場の建設に着手し、㈱ソディックが宮町地内に大規模な新工場の建設を表明しました。

平成28年春操業予定

◀小松ウオール工業㈱加賀工場の造成地

㈱ソディック加賀事業所の▶建設イメージ

教育改革に取り組みます

●学校普通教室等冷房化事業　**（平成26年度決算額：7,543万円）**

授業に支障のないよう良好な教育環境を提供していくために、錦城中学校の普通教室等冷房化工事と、山代中学校の普通教室等冷房化に向けた実施設計を行いました。

『持続可能なものづくり技術の集積地』

『教育改革』

旧加賀市と旧山中町の合併10周年を機に、
加賀市の市民憲章とシンボル、キャラクターを制定しました。

加賀市民憲章

加賀市は、変化に富んだ美しい自然のもとで古くから歴史を積み重ねてきました。先人たちは力を尽くして特徴ある伝統文化、産業を育み、温かいおもてなしの心とともにわたしたちに手渡してくれました。

わたしたちはこの加賀市を輝かしい未来につなぐために、誇りと責任をもって、ここに市民憲章を定めます。

一、歴史と伝統文化を尊重し、未来に向けて新たな創造に努めます。

一、美しい自然を大切にし、その恵みがさらに豊かになるように努めます。

一、暮らす人、訪れた人それぞれが元気になる、思いやりの輪が広がるように努めます。

加賀市のシンボル

市の鳥『かも』

市の花『はなしょうぶ』

市の木『すぎ』

平成27年9月28日　制定

平成26年度決算『加賀市年次報告書』
発行：平成27年11月　石川県加賀市
編集：加賀市総務部企画課企画係　（〒922−8622　石川県加賀市大聖寺南町ニ41番地）
ＴＥＬ：0761−72−7830　　E-mail：kikakukakari@city.kaga.lg.jp
ホームページ：http://www.city.kaga.ishikawa.jp/　　※加賀市ホームページでもご覧になれます